

教職員アンケート結果より

I 成果

- ①教材・備品・図書等について計画的に整備が進められていること。
- ②教職員が服務規律を遵守していること。

II 課題

- ①挨拶、安全、後始末の定着が十分ではないこと。
- ②基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が十分ではないこと。
- ③宿題や家庭学習の継続が十分ではないこと。

今後に向けて

- ◎挨拶については児童会との活動とも連携し、あたたかな人間関係の構築に努めていきます。今後も家庭、地域と連携して指導を継続します。
- ◎基本的な学習ルールについては、全学級で共通した取り組み（次の授業の準備をしてから休み時間とする。筆入れを机の上に置かないなど）を行い、定着が図られてきています。今後も、学習ルールの徹底を図っていきます。
- ◎宿題や家庭学習の取組については、端末の活用も取り入れながら充実を図っていきます。

児童アンケート結果より

I 成果

- ①学校での勉強は分かりやすいこと。
- ②歩いて登校したり、体を使って遊んだりしている。
- ③困ったときや悩んだとき、先生方はきちんと相談にのってくれること。
- ④学校に行くのは楽しい。
- ⑤仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にしていること。

今後に向けて

- ◎成果として見られた点については、この評価が継続できるように指導を続けていきます。
- ◎読書の取り組みについては、子どもたち自身の評価は上向きですので、子どもたちの興味・関心を引き出せる読書環境を充実させていきます。
- ◎「自分のよい所を学習や生活に生かしている。」の評価で改善が見られました。今後も、子どもたちが思考・判断する授業づくりを進めていきます。

保護者アンケート結果より

I 成果

- ①子どもは、学校での勉強が分かりやすいと言っている。
- ②子どもが読み書き計算を中心に基礎的な学力や表現力を身に付けていること。
- ③子どもは、健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。
- ④学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらをさらに伸ばすように努めていること。

II 課題

- ①3つの「あ」に気を付けて生活することが十分でないこと。
- ②家庭での読書の声かけや図書館の活用など、読書環境の充実に努めることが十分でないこと。

今後に向けて

- ◎3つの「あ」の指導については家庭や地域と協力し、三者が一体となって今後も粘り強く指導を進めます。
- ◎読書習慣の充実については、今後も家読の資料等をお伝えしながら、学校と家庭の連携をより推進していきます。

学校運営協議会居武士小学校部会より

I 成果

- 昨年度後期の評価と比較すると、全般的に改善が見られ良好な状態にある。
- いじめ等のなやみを伝えられやすい人間関係づくりを今後も進めていってほしい。
- 読書習慣の定着について、学校も家庭も取組を進めている。
- 訓小との交流が盛んになり、中学校進学等の不安が軽減されている。今後も交流を進めていってほしい。

II 課題

- 職員評価で「目指す子ども像」に関わる評価が低かった。
- 日常的な友達とのトラブルについての対応について今後も親身に指導や支援を行ってほしい。
- 放課後、子どもは忙しすぎてゆっくり読書をする時間をとることができない。

今後に向けて

- ◎児童、保護者からの声をしっかり受け止め、職員間で情報を共有し、適切に対応できるよう改善に努めます。